

大雪時の対応に関し 災害時応援協定締結先と 協議を行う考えは

協定締結先と協議し 万全な体制づくりに努めたい

西宮幸一議員(市フォ) 先日、首都圏では2週連続でまとまった雪に見舞われたが、市内における被害の発生状況を聞きたい。



▲大雪の影響が残る市内

他 自治会・町会の公会堂(地域公会堂)に対する府中市の姿勢について

行政管理部長 18名がけがで救急搬送されており、原因は歩行中や雪かき中の転倒等によるものである。このほか、雪の重みによる倒木やカーポート、倉庫、ビニールハウスの破損・倒壊、積雪によるバスの運休等があったと報告を受けている。

議員 大雪時には市地域防災計画を準用するものと考えているが、対応に関し、今後、災害時応援協定締結先と協議等を行う考えは。

行政管理部長 今回の大雪における他自治体の被害や取組を検証し、新たな支援項目を協定内容に盛り込むことについて、協定締結先と協議し、様々な災害を想定した万全な体制づくりに努めていきたいと考えている。

コミュニティソーシャルワーカーの 取組を市はどう考えているか 安心して暮らせる地域づくりの 促進等に参考となる

西村陸議員(公明) 相談窓口や地域において、生活困窮者をサポートしていく上での課題を聞きたい。

福祉保健部長 課題には、生活困窮の相談のほかに虐待や精神疾患など複数の要因があり、画一的な対応では解決困難なケースが増えていることが挙げられる。

また、支援に関わる機関が多くなる傾向があり、十分な連携が図りづらいこともある。議員 大阪府豊中市では、既存の福祉の枠組みでは支援を

受けることができない市民に対して、ボランティアや地域の方などと一緒に様々な生活上の問題の解決に取り組むコミュニティソーシャルワーカーを導入しているが、市はこのような取組についてどう考えているか。

福祉保健部長 行政と地域の橋渡しをする人材の育成や住民が安心して暮らせる地域づくりの促進を行うに当たって、参考になるものと考えている。

他 市民協働によるまちづくりの活性化に向けて

常任委員会の審査報告から

総務委員会

第19号議案

平成26年度府中市公共用地特別会計予算

本予算の総額は、49億6387万2000円で、前年度に対して75.9%の増となっている。

歳入の主なものは、庁舎建設基金などからの繰入金や市債等となっている。

一方、歳出は、市庁舎や学校給食センター、府中消防署白糸台出張所の建替えに関する用地取得などとなっている。

質疑に対して、「庁舎用地については、物件補償費を合わせて25億円の計上をしていく」等の答弁があった。

委員から、「庁舎等の敷地購入について、しっかりと計画を進めることをお願いし、本案に賛成する」「以前から庁舎の敷地拡張と全面建替えに異議を唱えているため、本案に賛成しかねる」等の意見があった。

審査の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教委員会

陳情第4号

府中駅北口用 市立府中町保育園新設願

いについての陳情

この陳情は、「私が所有する店舗をもって市立保育園をつくらうと願うものである。その目的は、当店がずば抜けた経済価値を持つており、府中駅に近い計126坪の大型一戸建て店舗は、大量の幼児を一括して安全に収容、送迎できるからである。また、当店の後背地には莫大な需要のある住宅地があるにもかかわらず、1階庭付きの保育園や幼稚園が1園もない」との内容である。

質疑に対して、「民設公営の保育園は、全国的に見てもないのではないかと考えている」等の答弁があった。

委員から、「民間が保育園を設置する際の相談体制をつくっていただきたい」「総合的に見て、市の事業計画等に沿っていないため、不採択を主張する」等の意見があった。

審査の結果、本陳情については、全員異議なく、不採択にすべきものと決定した。

厚生委員会

第15号議案

平成26年度府中市国民健康保険特別会計予算

本予算の総額は、240億9177万円で、前年度に対して1.8%の増となっている。

歳入の主なものは、一般被保険者国民健康保険税、療養給付費等負担金等となっており、国民健康保険税の課税限度額について、4万円の引き上げを行っている。

一方、歳出は、一般被保険者療養給付費、後期高齢者支援金等となっている。

質疑に対して、「医療給付費が伸び、国民健康保険税収入の改善が見込めない中、一般会計繰入金が必要になっている状況である」「国民健康保険税における収入歩合を達成するため、今後、滞納者との計画的な接触の機会を増やし、納付意識の改善をはじめ、早期完納の指導につながる取組を実施していく」等の答弁があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会

第20号議案

平成26年度府中市下水道事業特別会計予算

本予算の総額は、40億3205万1000円で、前年度に対して7.4%の増となっている。

歳入の主なものは、下水道使用料、一般会計繰入金、下水道債等となっている。

一方、歳出は、下水道総務費、下水道維持費、下水道新設改良費等となっている。

質疑に対して、「一般会計繰入金については2億円の増で、老朽化対策や耐震等に係る予算の増が主な理由である」「老朽化対策として、まずは重要施設、避難所、幹線道路等の下水道管を調査し、必要な部分を的確に修繕していきたい」等の答弁があった。

委員から、「長期的な維持管理への一歩となる予算であり、今後の努力に期待し、本案に賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

特別委員会の中間報告から

基地跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況について、調布飛行場では、三宅島航空路線の平成26年4月2日運行開始に向け準備を進めているとのことである。

都市整備用地について、現在、国は地下構造物の掘削調査を進めているが、調査は25年度内に終了する目途がついたとのことである。

府中消防署出張所及び学校給食センターの用地取得について、都から予算要求上の概算額で14億円の提示を受けており、取得時期は26年7月頃を予定している。

府中基地跡地留保地の状況について、都から当該地での都立公園の整備は実現が困難であると正式に意思表示がなされたなどの報告があり、これを了承した。

再開発対策特別委員会

府中駅南口再開発事業の状況について、組合では、平成25年12月定例会以降、理事会を6回開催し、再開発ビルの管理検討、今後の事業の進め方などについて協議が行われている。

審査請求の対応状況について、土地等の明け渡し通知に関する処分に対し、1件の審査請求が提起されたが、都で手続きが進められ、26年2月に請求を棄却する裁決があった。

工事の進捗状況について、26年2月末までに40%の建物の解体工事が完了している。

交通計画に関して、府中駅前通りにおける車道の右折レーンと横断歩道の設置について警視庁と再度協議を行っているなどの報告があり、これを了承した。

市庁舎建設特別委員会

市庁舎建設基本計画の策定に向けては、職員検討会からの報告書と市民検討協議会からの提言書が市に提出されている。提言書では新庁舎の在るべき姿として、「市民に親しまれる庁舎」「府中らしい庁舎」「まちづくりの拠点となる庁舎」が示されている。

関係団体に対するアンケート調査については集計中だが、ユニバーサルデザインの採用等についての意見があり、建設を進める上で重要なものであることから、設計段階で改めて具体的な意見を聞く機会を設けたいと考えている。

また、既に基本計画(案)の作成に取り掛かっているなどの報告があり、これを了承した。